

39	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14103018	再生医療を支援する生物応答調節剤の創製研究	橋本 祐一(東京大学・分子細胞生物学研究所・教授)	A
(意見等) 個々の研究者の成果は恐らく高いレベルにあると思われる。2 年間は個々の研究者がその分担課題の範囲で自由な発想で研究に取り組みそれなりの成果をあげたと思われるが、本研究テーマをチーム全体としてこれから取り組んで行く時、最終目標である「再生医療を支援する生物応答調節剤の創製」という目標に対して今どの段階にあるかを明確にする必要があるのではないかと。このような研究は相応の時間が必要とは思われるが、掲げた目標が大きいだけにチーム全体としていかにこれを達成するかという点を明確にする必要がある。				
40	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14103019	シガトキシン類の全合成・抗体・作用原理の研究	平間 正博(東北大学・大学院理学研究科・教授)	A
(意見等) 日本が誇る天然物化を化学として確立する研究と高い評価を得ている。我が国を代表する天然物の合成化学の研究グループによる巨大分子の効率的全合成と生体機能の解明に向けたプロジェクトであり、これまでの成果は国際的にも高い評価を得ている。平成 13 年度にシガトキシンの全合成は達成されているがそのルートの改良を行い簡便かつ信頼性の高い第 2 世代の全合成のルートの開発を達成し、研究を進展させるための量的供給の問題を解決しつつある。今後の研究としてはシガトキシンの合成は完了しているので従来にない新しいポリエーテルの合成法の開発を志向されても良いのではないかと意見もあるが、このまま更に研究を発展させていただきたい。				